

## 5 計画の着実な推進

プランの着実な推進を図るために、各施策や事業を効果的に進めるための取り組みを行います。

### (1) 効率的な事業の実施

砂防事業については、1事業箇所の事業期間が他事業と比較して短期間であるため、事業着手から完成までの調査、設計、地元説明、工事等といった各プロセスを効率的に経て、次の事業展開を図りながら継続的な早期効果の発現に取り組めます。

- ・ 事前調査の早期着手
- ・ 事業の進捗状況のチェック
- ・ 事業進捗の最適化（切れ間ない次の事業展開や進捗状況を踏まえた適正な事業箇所への配分）

### (2) コスト構造改善

これまでの取組について一定の成果があったことから、引き続き、コストと品質の両面を重視する幅広い施策に継続して取り組めます。

- ・ 新技術・新工法等の民間技術の積極的な活用
- ・ 設計の改善に取り組む「設計VE」の導入
- ・ 施設の長寿命化を図る戦略的な維持管理（アセットマネジメント）の推進
- ・ 総合評価方式の推進や電子調達による調達の最適化 など

#### 現場条件に応じた新工法の積極的な活用事例

↓ 建設発生土を有効利用した砂防堰堤の工事



↓ 斜面を鋼製ワイヤーで補強する工法によるがけ崩れ対策



(3) 多様な主体との連携

■ 市町との連携の推進

県内の市町と密接な協力連携関係を築き、土砂災害に対する警戒避難体制整備を共に推進します。

■ 砂防ボランティア等の各種団体との連携

「砂防出前講座」や地域住民等が自発的に参加するイベントの開催にあたり、砂防ボランティア広島県協会等と連携し、県民の土砂災害防止に対する防災意識の醸成を図り、防災協働社会の実現につなげていきます。



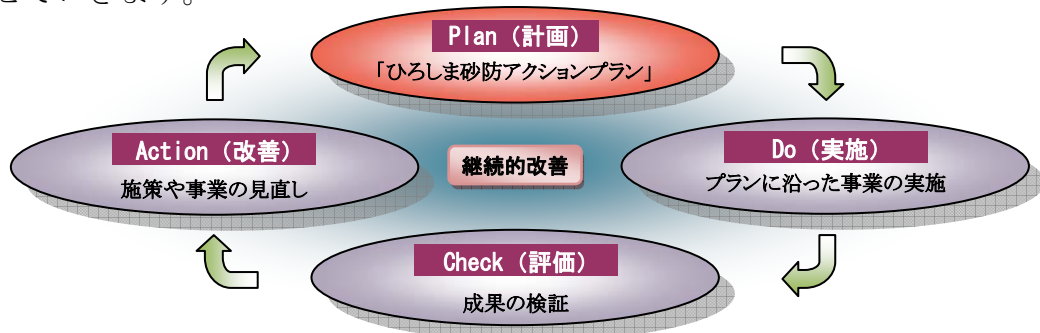
←「砂防ボランティア」や「建設コンサルタント協会」と連携して砂防出前講座を開催



(4) 施策の点検

■ PDCAの推進

プランに基づく施策や事業の効果を、社会情勢や自然環境の変化に合わせた必要な改善を加えながら、施策が効果的になるよう持続的に改善していく仕組み、「PDCAサイクル」〔計画(Plan)－実施(Do)－評価(Check)－改善(Action)〕により、点検・評価を行い、施策や事業の改善に反映させていきます。



■ 見える化

・「土砂災害ポータルひろしま (インターネット)」や土砂災害防止月間中の各種行事、「砂防出前講座」等、様々な媒体や機会を通じて、土砂災害防止に関する取組やその成果について、県民にわかりやすく「見える」形で公表することを推進します。